Suiden

熱風機ＳＨＤ−ＦⅡシリーズオプション

オプション基板−F　取扱説明書

適用機種	SHD-F シリーズ　：SHD-1.3F，SHD-2F，SHD-6F，SHD-9F, SHD-15F SHD-FⅡシリーズ：SHD-1.3FⅡ，SHD-2FⅡ，SHD-4FⅡ, SHD-6FⅡ，SHD-9FⅡ, SHD-15FⅡ

説明書 No.SHD-FⅡオプション基板　1405

安全に関するご注意

●配線、組立・据付、運転（操作）の前に、必ずこの取扱説明書とその他の付属書類をすべて熟知し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報、そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。
●ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

⚠危険：取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることがあります。

⚠注意：取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性および物的損害が発生する可能性があります。状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。内容を必ず守ること。

絵表示の形状と意味					
△	△記号は、警告・注意を促す内容です。	⃠	⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。		●記号は、行為を強制したり指示する内容です。

●配線の際の注意事項

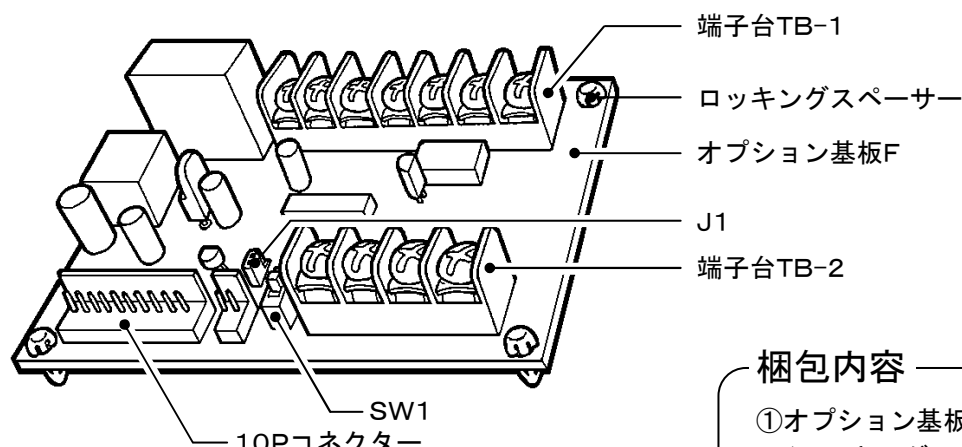
⚠　危　険

活線状態で作業しない。
＊感電の恐れがあります。必ず電源を遮断してから作業してください。

⚠　注　意

配線工事は、専門業者もしくは有資格者が行う。
＊素人工事は事故やトラブルの原因になります。

取付けは、熱風機が冷めているときに行う。
＊運転停止直後などに作業すると、やけどをする恐れがあります。

●各部の名称と梱包内容

梱包内容
①オプション基板−F………………1個
（ロッキングスペーサー付き）
②取扱説明書………………………1部

●こんな使い方ができます

> **注記**
> ①基板回路は、DC12V.　10mA で制御されています。DC12V.　10mA で動作可能なスイッチを選定してください。（メーカー：フジソク．品番：HLS-208K　または相当品）
> ②ノイズや誘導起電圧などを原因とした誤動作を防止するため、接続コードは、他の AC(交流)側のコード類に近づけて配線したり、並走配線しないでください。

オプション基板-FをSHD-FおよびSHD-FⅡシリーズに装着することにより、下記の使い方ができます。

（1）熱風機の遠隔操作

① 熱風機の運転スイッチの「入・切」、ヒータースイッチの「入・切」を、お客様ご使用の機械と連動させることができます。
ただし、お客様ご使用の機械と当基板の間に、シーケンサ回路などが必要です。
シーケンサ回路は、お客様側での設計となります。

② 熱風機の運転スイッチの「入・切」、ヒータースイッチの「入・切」を、単独で遠隔操作できます。

（2）熱風機のアラーム出力

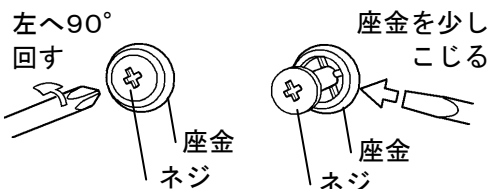
熱風機異常をパトライトやブザーなどで視覚的・聴覚的に知らせることができます。

> **注記**　パトライト、ブザー、接続コードなどの部材や、電源への接続作業は、お客様手配となります。

●オプション基板の取付けとご使用方法

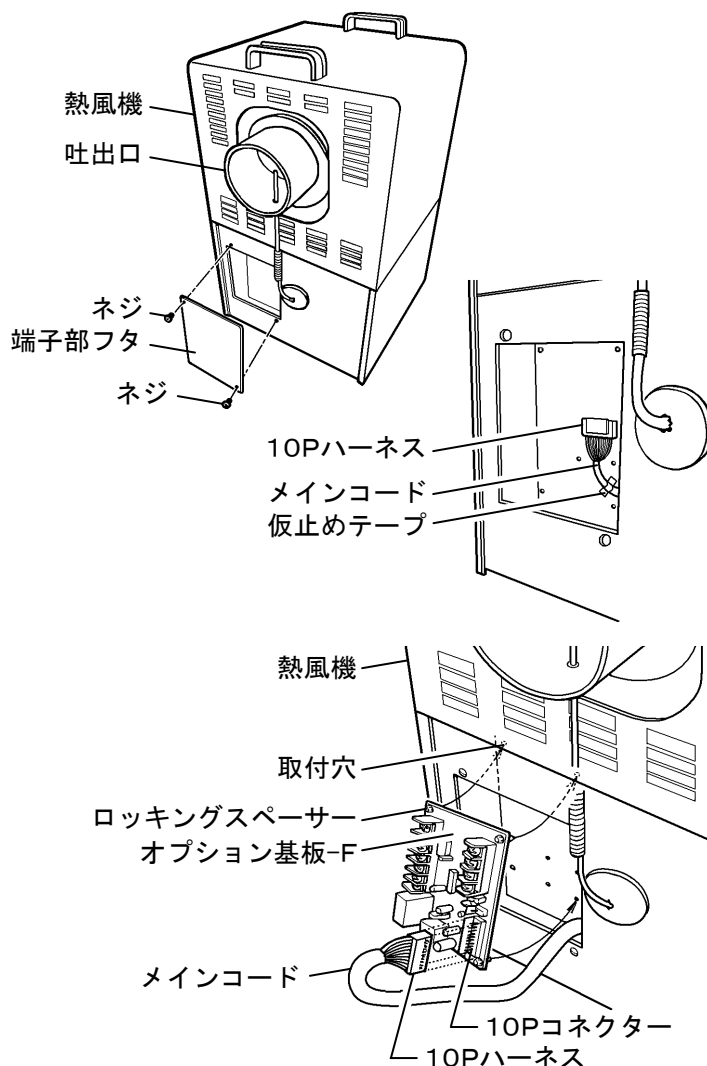
（1）基板の取付け

① 熱風機の端子部フタを外します。
熱風機吐出し口下側に、端子部があります。
端子部フタは、図のように2か所のネジで止めています。

> SHD-Fシリーズのネジの外し方
>
> ネジに⊕ドライバーを差込み、左へ90°回すと緩みます。
> ⊖ドライバーなどで座金を少しこじり、座金ごとネジを外します。
>
>
>

② 熱風機の10Pハーネス付きメインコードの仮止めテープを外します。

③ オプション基板-Ｆを熱風機に取付けます。

1）基板の四隅のロッキングスペーサーを、熱風機の取付穴にカチンと音がするまで差込みます。

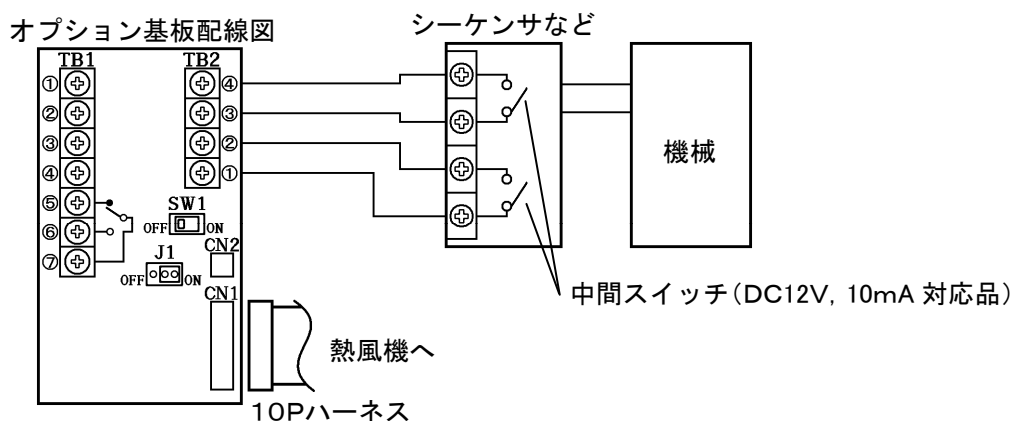
2）メインコード先端の10Pハーネスを、基板の10Pコネクターに差込みます。

(2) 配線

用途に合わせて配線例を参考に配線してください。

> **注記** SW1は、OFFの状態で使用してください。

A 熱風機の運転スイッチとヒータースイッチの「入・切」をお手持ちの機械と連動させる方法

《配線例》

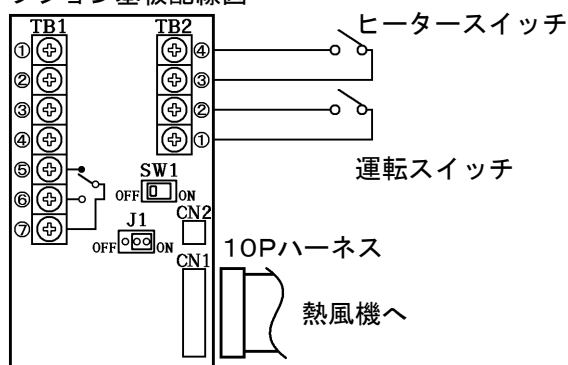
1) 端子台TB2の①②へ、運転スイッチ用信号線を接続します。
2) 端子台TB2の③④へ、ヒータースイッチ用信号線を接続します。

《操作手順》

1) 熱風機に通電します。
2) 熱風機の温度設定をします。(熱風機本体の取扱説明書をご参照ください)
3) お客様ご使用の機械を稼動してください。熱風機が連動します。

B 熱風機のスイッチの「入・切」を遠隔操作する方法

《配線例》

1) 端子台TB2の①②へ、運転スイッチ用信号線を接続します。
2) 端子台TB2の③④へ、ヒータースイッチ用信号線を接続します。
※運転スイッチのみ遠隔操作するときは、端子台TB2の③④を短絡します。

オプション基板配線図
TB1
TB2
SW1
OFF
ON
J1
CN2
CN1
ヒータースイッチ
運転スイッチ
10Pハーネス
熱風機へ

《操作手順》

1) 熱風機に通電します。
2) 熱風機の温度設定をします。(熱風機本体の取扱説明書をご参照ください)
3) 延長した運転スイッチ、ヒータースイッチを操作してください。

> **注記**
> ①運転スイッチ、ヒータースイッチは、DC12V, 10mA 対応品をご使用ください。
> ②ヒータースイッチのみを操作しても熱風機は稼動しません。必ず運転スイッチも操作してください。
> ③ヒータースイッチが「入」の状態で、運転スイッチを「切」にすると、ヒータースイッチも連動して「切」になります。ただし、ヒーター保護のため3分間送風運転をした後、自動的に停止します。

C パトライト、ブザーなどを接続して、熱風機の異常を知る方法

《配線例》

1）端子台TB1の⑤⑦または⑥⑦へコードを接続します。
2）異常感知の方法により、接続する端子台の位置を選択してください。

注記 J1の短絡ピンを必ずOFF側に差込んでください。

D Ａ～Ｃの使用方法を組合せて使用する

J1の短絡ピンをON側に差込んでください。

（3）端子部フタを取付ける

熱風機の元の位置に、端子部フタをネジ2か所で取付けてください。

SHD-Fシリーズのネジの締め方

ネジを座金ごと取付け穴に合わせて、ネジの頭を押すと取付けられます。

⚠ 安全に関するご注意

- 本製品を、食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途については、確認のうえ使用してください。品質低下などの原因になることがあります。
- 本体には、据え付けおよび電気工事などが必要な場合があります。お買い上げ販売店または専門業者にご相談ください。工事に不備があると、感電や火災・事故の原因になることがあります。

★長年ご使用の熱風機の点検を！

このような症状はありませんか？	●スイッチを入れても時々運転しないことがある。 ●運転中に異常な音や振動がある。 ●本体が変形していたり、異常に熱い。 ●焦げ臭い“におい”がする。 ●その他の異常がある。	▶	**お願い** **異常があればご使用を即、中止!!**	このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

●お買い上げ販売店のメモ欄

店　名

所 在 地

電話番号

お買い上げ年月日
年　月　日

株式会社スイデン
大阪市天王寺区逢阪2-4-24
ホームページ http://www.suiden.com
お客様相談室
フリーダイヤル 0120-285-240
Eメールでのお問い合わせは info@suiden.com

≪製品の廃棄について≫　本機を廃棄するときは、分解し、分別処理して廃棄物処理場に出してください。